



臨床研究に関する情報の公開

作成日:2019/04/26

研究課題名	嚢胞性腎疾患における遺伝的背景と臨床所見および病理所見の関係
研究の対象	嚢胞性腎疾患と診断され、過去に実施した研究「腎臓疾患および体液制御に関わる危険遺伝子および遺伝子変異の同定」に同意された患者さん
研究目的・方法	腎生検は腎臓病の診断に必須の検査で、組織学的な所見が腎予後を予測するとされています。しかしながら、臨床所見や病理所見のみでは髄質嚢胞性腎疾患（medullary cystic kidney disease : MCKD）はネフロン癆との鑑別が困難であり、遺伝子解析が必要です。ADTKDにおける異常遺伝子産物は尿細管細胞に存在する一次繊毛に局在していることが明らかとなっていますが、これらの疾患に対する遺伝子解析は現時点では研究段階であり、全ての症例に実施することはできません。東京医科歯科大学腎臓内科学講座には次世代シーケンサーを用いた遺伝子解析実績があり、既存のデータベースを活用することによって、後方視的に遺伝学的背景と臨床所見および病理所見の関係を調べ、臨床所見や病理所見から遺伝的背景を予測する方法を確立することが本研究の目的です。腎生検の際に作成された余剰な腎組織標本を用いて染色し、当院で採取された血液・尿検査データを参考にして解析します。また、腎病理組織像と遺伝学的背景を結びつける新たな診断予測マーカーも探求する予定です。 研究期間：許可日～2023年3月31日
研究に用いる試料・情報の種類	血液・尿検査データおよび腎生検の際に作成された余剰な未染色の腎組織切片
外部への試料・情報の提供	データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当科の研究責任者が保管・管理します。
研究組織	研究責任者；東京医科歯科大学医学部附属病院腎臓内科 内田信一 既存の資料を提供する施設；京都大学医学研究科腎臓内科学 柳田素子、虎の門病院腎センター内科 星野純一、旭川医科大学内科学講座循環・呼吸・神経病態内科学分野 長谷部直幸、杏林大学医学部病理学教室 長濱清隆、済生会横浜市南部病院腎臓高血圧内科 岩本彩雄、大阪大学大学院医学系研究科腎臓内科 猪阪善隆、東海大学医学部内科学系腎内分泌代謝内科 和田健彦、東北大学大学院医学系研究科腎・高血圧・内分泌学 宮崎真理子、武蔵野赤十字病院腎臓内科 安藤亮一、福島県立医科大学腎臓高血圧内科 風間順一郎、市立札幌病院病理診断科 辻隆裕、東京女子医科大学腎臓内科 望月俊雄、医学研究所北野病院腎臓内科 塚本達雄
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先・研究責任者： 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院腎臓内科 主任部長 塚本達雄 電話；06-6312-1221、FAX；06-6312-8867 研究代表者： 東京医科歯科大学医学部附属病院腎臓内科 内田信一 〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45 電話；03-5803-5662（ダイヤルイン）（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）